

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 ぎふ清流文化プラザ等芸術振興補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111(内3482)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,250 千円 (前年度予算額： 18,647 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,647	9,323	0	0	0	0	0	0	9,324
要求額	19,250	9,625	0	0	0	0	0	0	9,625
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成30年6月13日に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、障がい者の芸術文化活動に関する施策をより一層進め、障がい者の社会参加を促進する必要がある。

本県でも障がい者の芸術文化活動のさらなる振興を図るとともに、「障がい者の文化芸術活動の拠点」をコンセプトの一つとするぎふ清流文化プラザを中核とした障がい者芸術の支援に取り組む必要がある。

(2) 事業内容

「障がい者の芸術文化活動の拠点」であるぎふ清流文化プラザを中核として、障がい者芸術作品の展示、舞台芸術の発表会・交流会の開催などにより情報発信を行うとともに、県下5圏域での芸術教室の開催や障がい者施設への芸術家(講師)派遣などを実施し、障がい者が芸術に触れ、体験する機会を拡大する。

また、芸術文化活動を行っている障がい者の発掘を行うとともに、県内の障がい者の芸術文化活動を総合的に支援するコーディネーターを設置する。

- ①ぎふ清流文化プラザ等での障がい者アート展の開催
- ②舞台芸術・音楽コンサート等の開催
- ③県内5圏域における芸術教室の開催
- ④障がい者施設への芸術家(講師)派遣
- ⑤SNSを活用した障がい者と支援者の交流・情報発信等
- ⑥障がい者アートバンク事業
- ⑦ぎふ清流文化プラザ移動支援事業
- ⑧障がい者文化芸術コーディネーターの設置
- ⑨障がい者ふれあい福祉フェアの実施

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 県1/2 国庫補助 [地域生活支援事業]

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	19,250	ぎふ清流文化プラザを中核とした各種芸術振興事業に対する補助
合計	19,250	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（障がい者の芸術文化活動への参加促進）
- ・岐阜県障がい者総合支援プラン（障がい者の芸術文化活動の充実）

(2) 後年度の財政負担

芸術活動を通じ障がい者の社会参加を促進するため、継続的な助成が必要

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

既に芸術活動に取り組む障がい者の一層の創作意欲の向上及びこれから芸術活動に取り組む障がい者の裾野拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H24)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①芸術教室の参加者数	—	146	230	230	230	63.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>下記のとおり障がい者芸術教室を開催し、障がい者の社会促進に取り組むことができた。（コロナ対策のため定員を通常より半減して実施）</p> <p>岐阜圏域：実施回数：4回、参加者数：75名 内容：版画、ちぎり絵、ワークショップ 等</p> <p>西濃圏域：実施回数：1回、参加者数：8名 内容：陶芸</p> <p>中濃圏域：実施回数：2回、参加者数：8名 内容：書道、フラワーアレンジメント</p> <p>東濃圏域：実施回数：2回、参加者数：22名 内容：ちぎり絵、陶芸</p> <p>飛騨圏域：実施回数：1回、参加者数：15名 内容：フラワーアレンジメント</p>
令和3年度	<p>下記のとおり障がい者芸術教室を開催し、障がい者の社会促進に取り組むことができた。（コロナ感染症の影響のため当初予定の14回中、8回分が中止）</p> <p>岐阜圏域：実施回数：3回、参加者数：41名 内容：絵画、陶芸、フラワーアレンジメント</p> <p>西濃圏域：実施回数：2回、参加者数：17名 内容：ちぎり絵、書道</p> <p>中濃圏域：中止（コロナ感染症の影響のため）</p> <p>東濃圏域：中止（コロナ感染症の影響のため）</p> <p>飛騨圏域：実施回数：1回、参加者数：16名 内容：陶芸</p>

令和4年度	<p>下記のとおり障がい者芸術教室を開催し、障がい者の社会促進に取り組むことができた。(コロナ感染症の影響のため当初予定の13回中、4回分が中止)</p> <p>岐阜圏域：実施回数：3回、参加者数：63名 内容：書道、ワークショップ、陶芸</p> <p>西濃圏域：実施回数：1回、参加者数：9名 内容：版画</p> <p>中濃圏域：実施回数：1回、参加者数：8名 内容：陶芸</p> <p>東濃圏域：実施回数：2回、参加者数：40名 内容：書道、フラワーアレンジメント</p> <p>飛騨圏域：実施回数：2回、参加者数：26名 内容：ちぎり絵、フラワーアレンジメント</p>
	<p>指標① 目標：__230__ 実績：__146__ 達成率：__63.5__ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>障がい者の芸術文化の社会参加を促進するため、「障がい者の文化芸術活動の拠点」である「ぎふ清流文化プラザ」を中核として、芸術活動支援に取り組む必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>ぎふ清流文化プラザの有効活用を促進するとともに、県下全域での更なる裾野拡大の取組みを実施し、障がい者が芸術に触れ、体験する機会を拡大しており、事業の有効性は高い。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>ぎふ清流文化プラザ内のセミナー室や長良川ホールの有効活用を図るなど、事業実施の効率性は図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 障がい者芸術には多彩な分野があり、創作活動のレベルにも差があるため、それぞれの分野やレベルに応じた支援方法を検討する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 障がい者芸術には多彩な分野があり、創作活動のレベルにも差があるため、それぞれのニーズを把握し、障がい者の芸術活動の総合的な支援を展開する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】